

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-36 水洗化普及促進事業 □支援部門					ザイムスコード及び個別事業名		
						533	水洗化普及促進事業	
主管課	下水道課		関連課			1251	水洗化改造支援事業	
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	水洗化普及促進を図ります。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	30,696千円	40,425千円			指標と評価		
	(国・県)					指標	水洗化率	
	(負担金等)					評価	○	
	(一般財源)	30,696千円	40,425千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	6.6人	7.5人			目標値	実績値	
	人件費	58,503千円	67,120千円			20年度	97.50%	92.35%
	協働の パートナー					21年度	97.75%	92.59%
事務事業 運営経費	総事業費	89,199千円	107,545千円	未水洗化対象者		22年度	98.00%	
	市民1人当 りの経費	505円	609円	H20 13,331人 H21 12,808人		23年度	98.10%	
	対象者1人 当りの経費	6,964円	8,067円			最終年度 (年度)	99.00%	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	平塚市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市			
	H20水洗化率	94.87%	97.40%	97.74%	95.32%			
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・くみ取り便所の改造義務期間3年を過ぎても改造が行われない家屋が残っている。また、浄化槽利用家屋で補助金・貸付金制度の対象期間3年を過ぎても改造が行われない家屋がある。 ・建築確認申請で民間審査機関に申請されたものに対し、排水設備確認申請書の提出指導が十分にできていない。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・水洗化されていない家屋の台帳をデジタル化することを目標に、データ整理を開始した。 ・指定工事店に対して、しおりを配布するなど指導を強化した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・未水洗化の家屋データの整理については、複数の情報を突合する必要があるため、平成22年度にかけて調査中である。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き未水洗化の家屋データの整理に努め、分類するとともにデジタル化を図り、積極的な啓発活動につなげる。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性		
B	有	未接続家屋の減少に向け、効果的な 方策を検討する。			B	有	下水道整備が進む中で、普及促進 につとめ接続率の向上を図る。	
課長名		下水道課課長代理 小林 肇			部名・部長名		都市整備部 山内 廣行	